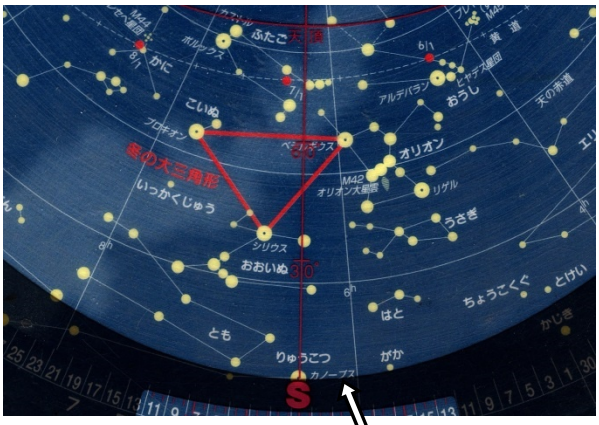
星の話　カノープス（南極老人星）

2020.03.16 星のお爺さま



りゅうこつ座のカノープスは、おおいぬ座のシリウスに次いで全天で 2 番目に明るく見える星です。しかし、南中した時の高度が低く、北日本では見ることができません。平地での北限は、福島県の北端付近です。空の低い位置のため大気の影響で実際の明るさよりも暗く、赤みがかかった色に見えます。

中国では、カノープスを**「南極老人星」**と呼び、この星を一目見ると７５日寿命がのびる、という伝説があります。

カノープスが南中する時刻は、大晦日の頃は午前０時、３月中旬には午後７時頃です。南の空が晴れ渡った夜、星図たよりに探してみて下さい。

式根島釜の下キャンプ場にて撮影

渡良瀬遊水地の堤にて撮影（露出時間 70 分）
左下の光跡は羽田空港を離発着する航空機

カノープスは日本国内でも地域によって様々な呼び方や言い伝えが残っています。

布良(めら)星　千葉県館山市布良　赤く輝くこの星を、布良で遭難した漁師の魂が成仏できずに漂っているとして「布良星」と呼んでいるそうです。布良の海岸にはカノープスという名前のバスの停留所があります。

赤い目の竜　長野県大町市木崎湖（この付近が北限）真冬のよく晴れた夜、湖の上を赤い目をした竜が渡るという言い伝えがある。

Google Earth より

その他ユニークな呼び方の一部を紹介します。

アカボッサン　岐阜県揖斐郡　赤く輝いているので

ヨイドレボシ　東京都八丈島中之郷　赤くなって地面を這うようにして動くので

ドウラクボシ　淡路島　あまり昇ろうとせず、すぐに隠れてしまうから

ヒガンボシ　和歌山市雑賀崎　はじめて明け方に姿を現わすのが秋の彼岸の頃であるから

ゲンゴロウボシ　奈良県宇陀郡　池にいるゲンゴロウと動きが似ているから　等々。

あなたもカノープスを見つけて寿命をのばしませんか。

― 終 ―